

# Wiki概念の多様性

江渡 浩一郎

(独)産業技術総合研究所

塚本 牧生

沖ソフトウェア株式会社

島田 慶樹

cake.dyndns.org主宰

# アジェンダ

- 「Wikiの歴史をふりかえる」サーベイ
- Wikiの始まり
  - 1987年 Wikiの始まりはHyperCardだった
  - 1995年 WikiWikiWebが開始
- Wikiの広がり
  - 大規模コンテンツサイト構築ツール
  - グループ内部のコミュニケーションツール
- Wikiエンジンの分類

# Wikiとは何か

- Web上のコラボレーション・システム
- 複数人で一つのWebサイトを共同編集できる
- ブラウザから新しいページを作り，編集できる
- ページからページへのリンクを作るのも簡単

# Wikiとは何でないか

- Wikiを正確に定義するのは非常に困難
  - ブラウザ上でページを編集できれば，みんなWikiか？
- BlogとWikiの境目はどこにある？
  - Blogは一人で書く，Wikiはみんなで書く
  - みんなでBlogを書く，一人でWikiを書くことも可能
- WikiとWikiでは無いものを分離できるのか？
  - ソフトウェアの機能的な違い？ 使い方の違い？
  - そもそもWikiって固有名詞？ 普通名詞？

# Wikiの始まり

1. Wikiの創始者: Ward Cunningham
2. Portland Pattern Repository
3. HyperCardによるPattern Repository
4. HyperCardの画面例
5. WikiBase: 一番最初のWikiエンジン
6. The WikiWikiWebの誕生

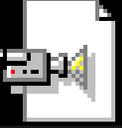
# Ward Cunninghamの活動

- オブジェクト指向業界での活動
  - オブジェクト指向へのパターン言語の導入
  - デザインパターンの先駆け
  - Kent Beckと共にExtreme Programmingを提唱する
- ソフトウェア業界でのキャリア
  - Tektronix, Microsoft, Eclipse Foundation
  - 独立したコンサルタントとしても活動
- オブジェクト指向業界での大物
  - Wikiの創始者としてよりもオブジェクト業界で有名

# Portland Pattern Repository

- Wikiの元になった活動
- 役割: パターン言語の収集
- Hyper Cardのスタックとしてブラウザを実装した

# オブジェクト指向へのパターン言語の導入

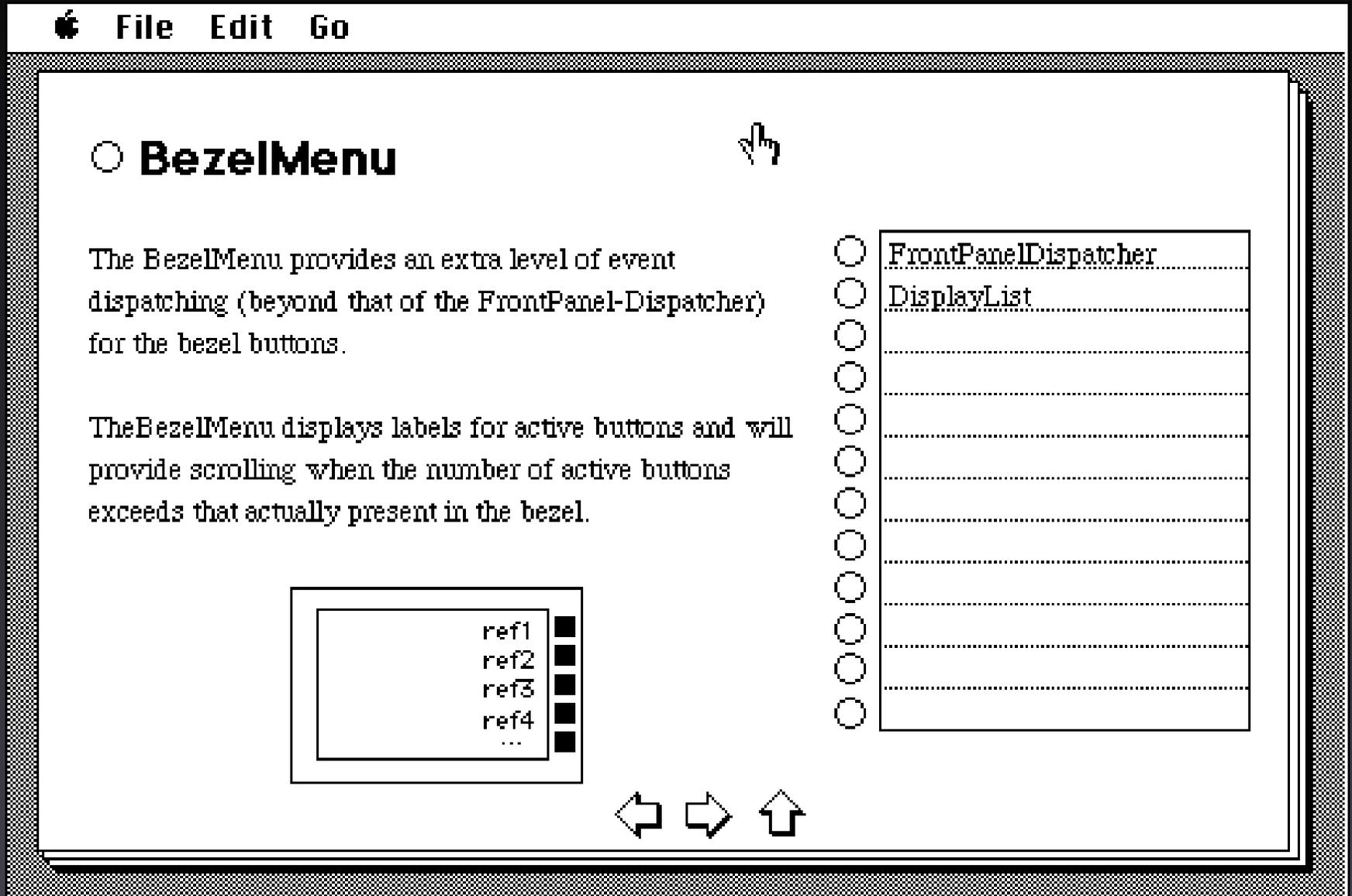
- Kent Beck, Ward Cunningham: Using Pattern Languages for Object-Oriented Programs, OOPSLA-87. 
- オブジェクト指向設計にパターン言語を導入
- パターンブラウザの制作とほぼ同時期
- ユーザインタフェースのパターンを論じている

# HyperCardによるパターン・ブラウザ

- 1987年頃 , Kent BeckにHyperCardを教えてもらう
  - 彼はApple社Alan Kayの元でVivarium projectに従事
  - Ward CunnighamはTektronix社勤務
- パターン言語記述のためのブラウザを作成
  - その場でページを編集できる
  - 名前と記述とリンクの三つの要素を持つ
- 1987年 HyperCardの公開
  - 開発時のコードネームはWildCard

# HyperCardの画面例

- 矢印によるページ移動，右側にリンク一覧



# 画面例からわかること

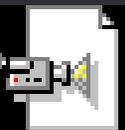
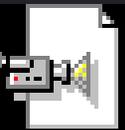
- 矢印によるページ移動
  - 一連の流れがあり，カテゴリー毎に分類される
- 右側にリンク一覧
  - 文中へのリンクの埋め込みは存在していない
- 図を挿入できる

# WikiWikiWebの誕生

- 1995年 , Web上で共同で編集できるようにした
- WebサイトをWikiWikiWebと名付ける
- つまり , WikiWikiWebは固有名詞だった
- 以後C2 Wikiと呼ぶ

# WikiBase: 一番最初のWikiエンジン

- 1995年 , WikiBaseの実装
- HyperCardからWebへの進化
- CamelCaseによるリンクの発明
- ソースコードは331行と非常に短い
- 1995年当時の実装であることを見る必要がある
- 最初のWikiの姿は今も見ることができる



# WikiWikiWebのコミュニティ

- WikiWikiWebをとりまくユーザ
- Patterns MLを中心としたコミュニティ

# Wikiの広がり

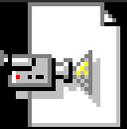
1. Wikiサイトの誕生
2. Wikiクローンの誕生
3. コミュニティによる文章作成
4. コミュニティによるWebサイト構築
5. ローカリゼーション
6. 共同作業ツール
7. 企業におけるWikiの利用
8. 個人の情報管理

# Wikiサイトの誕生

- 固有名詞としてのWikiの一般名詞化
- 目的: デザインパターンの収集
- 目的が違えば, 新しいWikiサイトが必要になる
- 目的が違えば, 必要な機能も異なってくる
- Wikiの機能を引き継いだ新しいWebサイト
- Wikiサイト: Wikiエンジン+Wiki文化
- Wikiの使い方をWiki文化と呼ぶ
- Wiki文化はコミュニティを通じて伝播する

# Wikiクローンの誕生

- WikiBaseのクローンなので「Wikiクローン」
  - 固有名詞から一般名詞への変化
- CvWiki: テキストファイル, CVSでリビジョン管理
- AtisWiki: CGI.pmの採用, モジュール化
- 1999年, UseModwiki: 更新衝突の検知, 高速化
- MeatBallWikiの誕生
  - Clifford AdamsとSunir Shahによる
- Ward's Wiki利用者層との重なり: Wiki文化の継承



# 目的：コミュニティによる文章作成

- Thread Mode: 署名つきでの意見交換
  - 各自の意見を元に議論をし、蓄積する
- Document Mode: 客観的な記述による文書
  - 第三者に向けて無記名で書かれる
- C2 WikiではDocument Modeがゴール
  - Thread Modeによる蓄積を元にDocument Modeへと昇華させる
  - 「コミュニティによる文章作成」が目的

# Wikipedia: コミュニティによるサイト構築

- 2001年 , Wikipediaプロジェクト開始
  - 共同で百科事典を構築するのが目的
  - 当初はUseMod Wikiを使用
  - 2002年1月 , MediaWikiへの移行
- Thread ModeとDocument Modeの明確な分離
  - Talk: というNameSpaceの導入
- 項目数増大 , 多数のユーザ参加
  - 高速化が必要となる

# ローカリゼーション

- 2000年, 日本でTikiとYukiWikiが開発される
  - 日本語がちゃんと使える(文字化けしない)
  - 日本語のページ名が使える
  - 他, WalWiki, PukiWiki, Hikiなど

# 共同作業ツール

- C2 WikiではDocument Modeが目的
  - 作成された文書が最終的な成果物
- Thread Modeを目的とした利用も想定可能
  - グループでの共同作業支援ツール
  - 共同作業のための対話，情報共有が目的
- つまり作成された文章は最終成果物ではない

# 特定目的のためのWikiの利用

- 2004年 , qwikWebの公開
  - メーリング・リストとWikiの統合
  - フローとしてのメール , ストックとしてのWikiページ
  - 第三者には非公開を基本とする
- 2004年 , Tracの公開 (Edgewall Software社)
  - ソフトウェア開発コミュニティにおける情報共有
  - 効率的な開発・リリースのための情報を一元管理
  - イシュー・トラッキング・システム , バージョニング・システムを統合

# 企業におけるWikiの利用

- Wikiを中心とした企業向けサービスの提供
  - 2003年, SocialText社
  - 2004年, Confluence社, JotSpot社
- 目的: グループ・ワークの効率化, 成果向上
  - メールやオフィス・スイートなどとの連携
  - Blogや掲示板の統合
  - アクセス・マネジメントの強化

# 個人の情報管理

- 2004年 , Wema → 附箋風カードを配置・接続
  - ページ上の配置で情報を整理できる
- 2004年 , TiddlyWiki → 1ページだけのWiki
  - JavaScriptだけで構成されている
  - 1枚のHTMLファイルで完結
  - サーバに保存しない
- 目的: 個人の情報整理



# Wikiエンジンによる分類

- Wikiサイト = Wikiエンジン + Wiki文化
- 目的によって機能追加 → 相互に影響を与える
- Wikiエンジンの分類から利用形態の変遷を見る

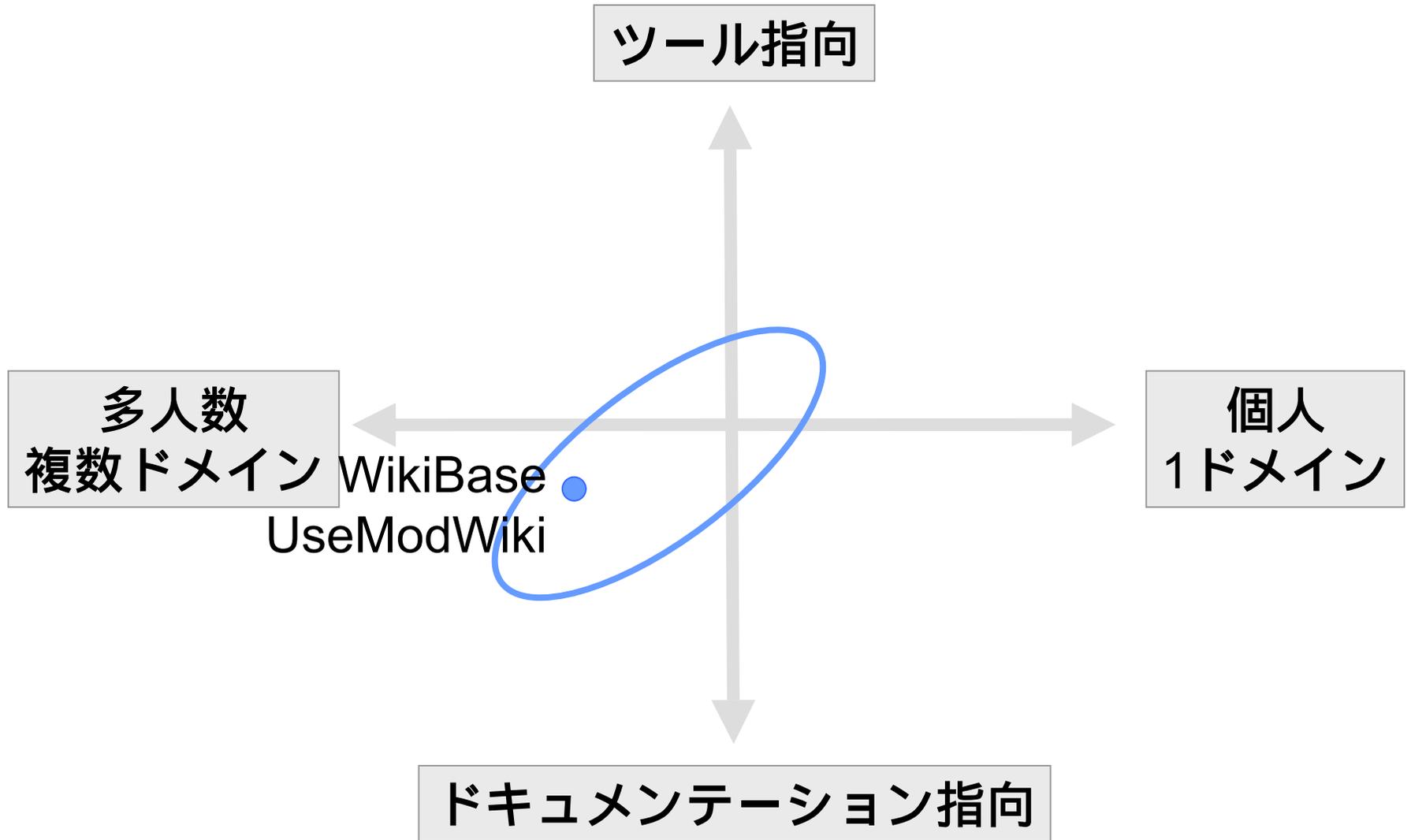
# 利用目的の設定

- Thread ModeとDocument Modeの違い
- Document Modeを目的とする利用形態
  - 外部公開向けWebサイトの構築
- Thread Modeを目的とする利用形態
  - 内部での情報共有，イントラとしての利用

# 利用者層の構成

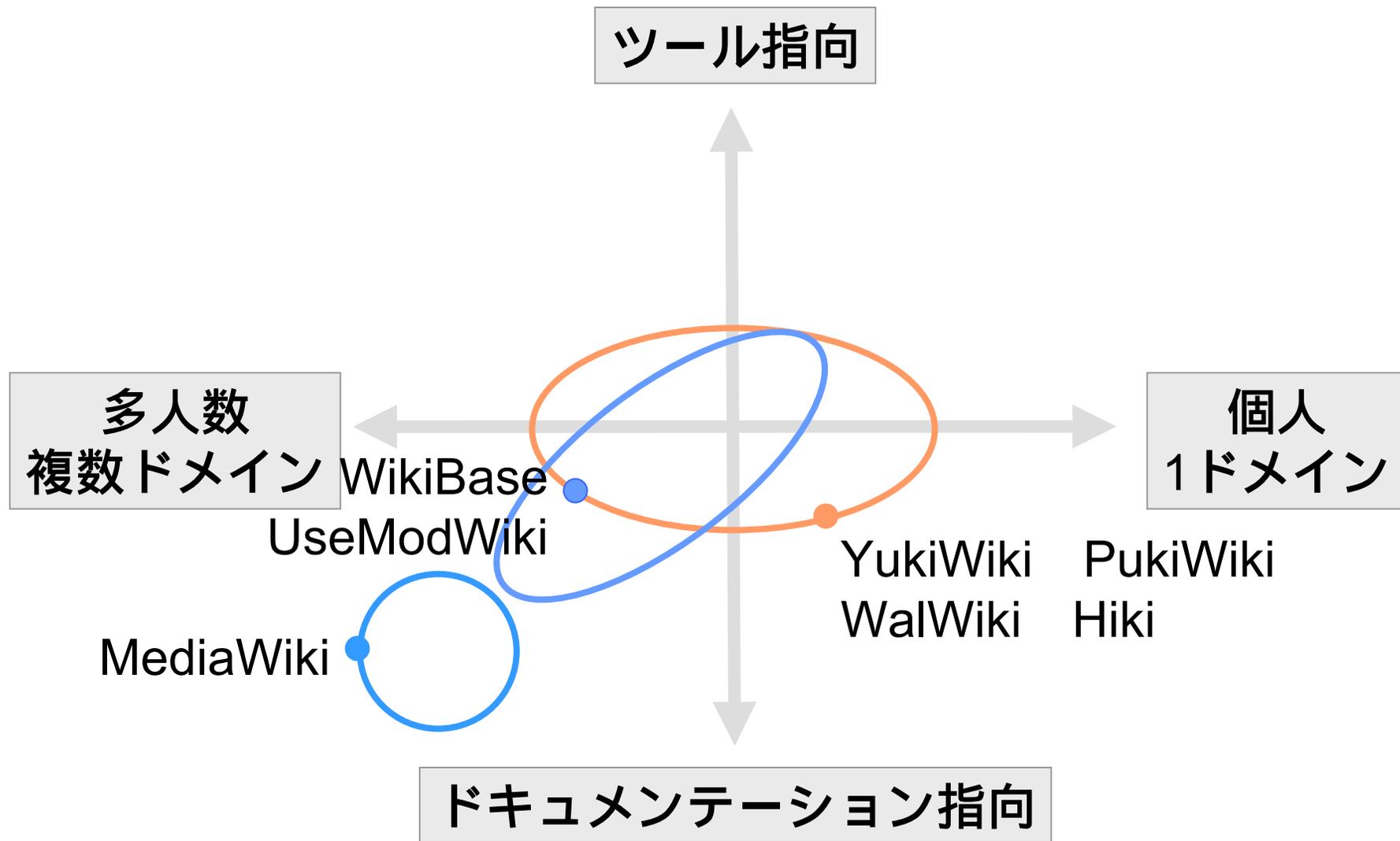
- 特定の一つのコミュニティを想定
- 複数の異なる領域の利用者を想定
- 個人の利用のみを想定

# Wikiエンジン見取図 (1995 ~ 1999)



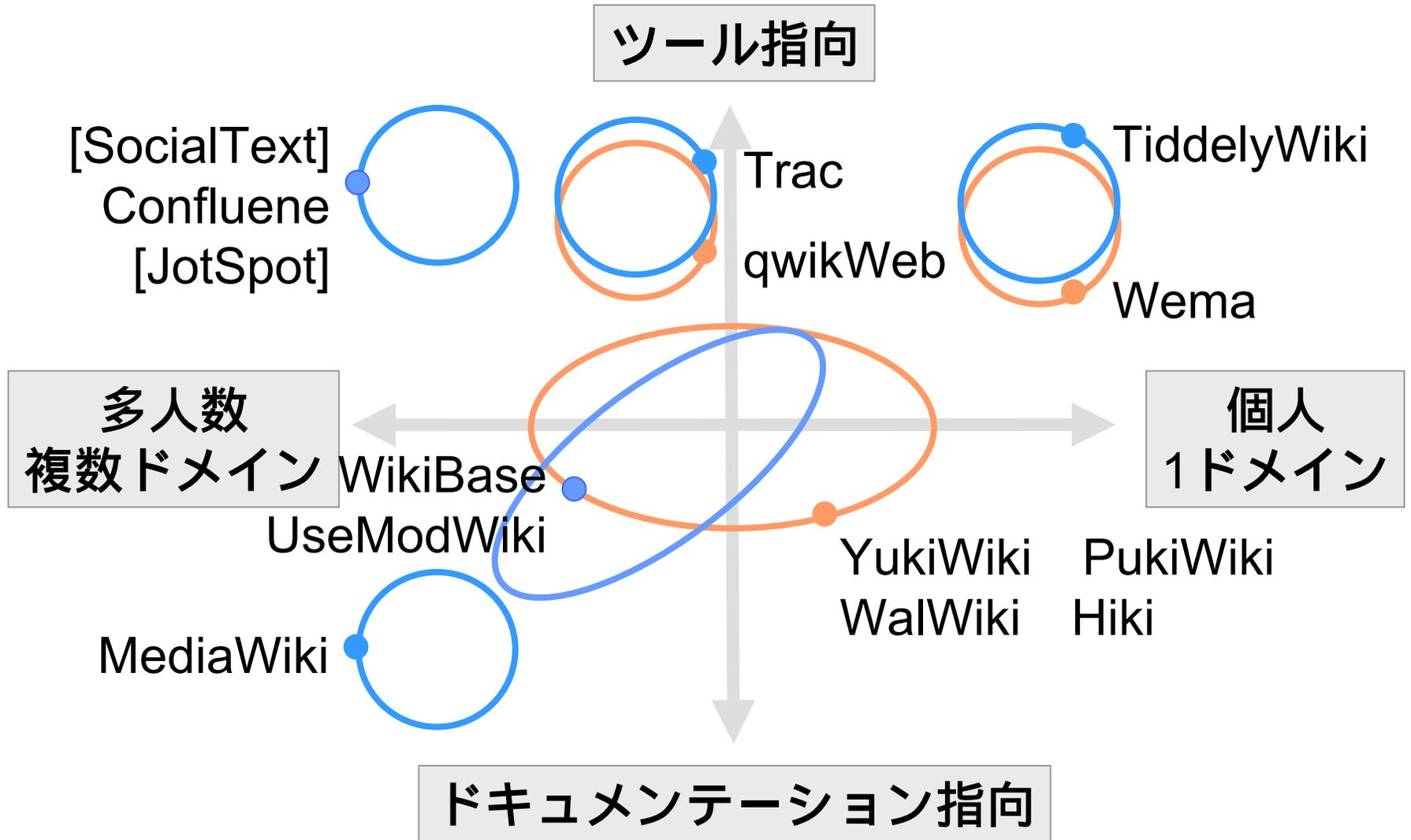
● 海外製Wikiエンジン ● 日本のWikiエンジン [...] ホスティングサービス

# Wikiエンジン見取図 (2000 ~ 2003)



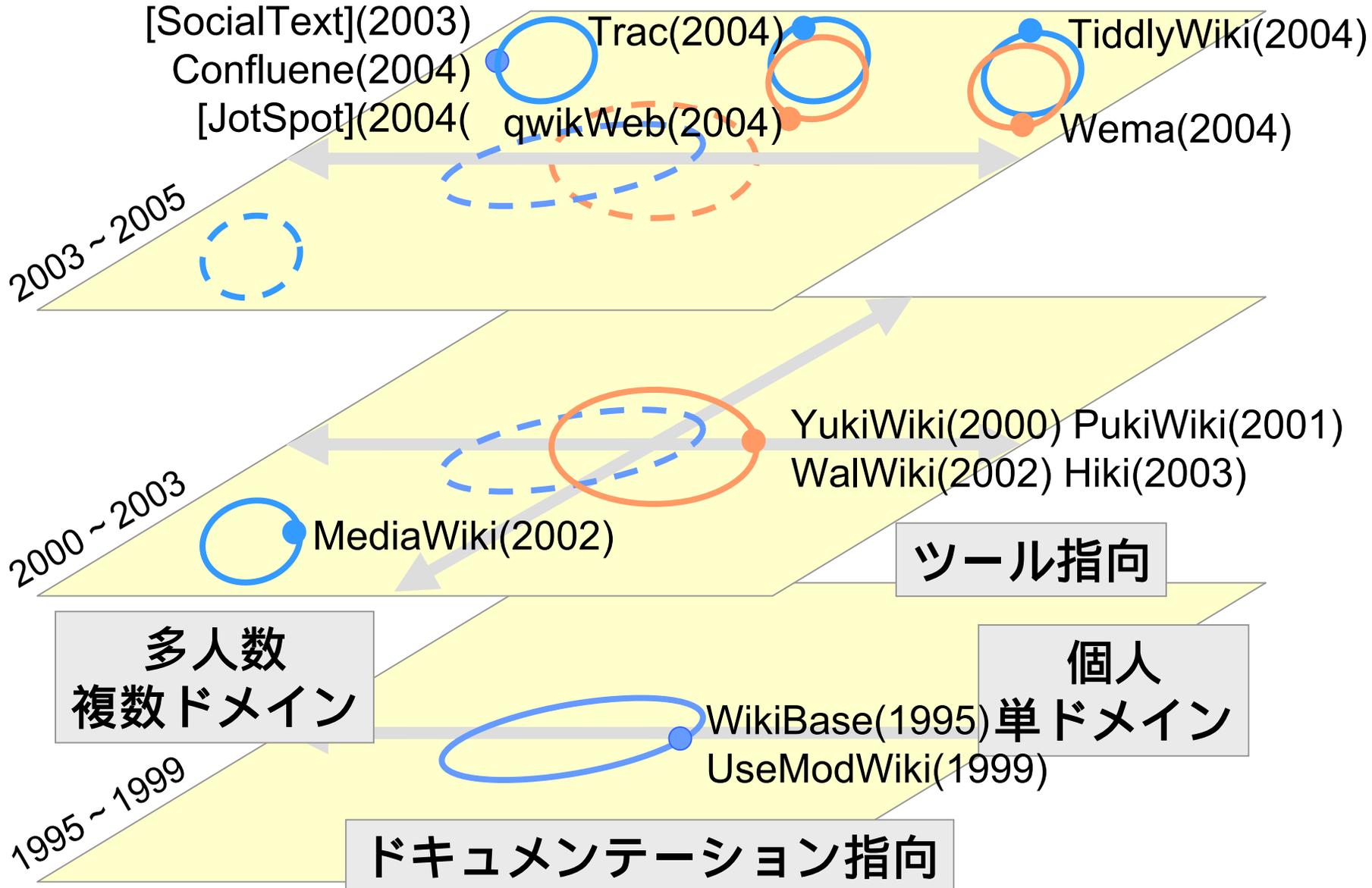
● 海外製Wikiエンジン ● 日本のWikiエンジン [...] ホスティングサービス

# Wikiエンジン見取図 (2003 ~ 2005)



● 海外製Wikiエンジン ● 日本のWikiエンジン [...] ホスティングサービス

# 時代における変遷



# まとめ

- C2 Wikiを抜きにしてWikiは語れない
- Wikiの役割は時代を経て徐々に拡大した
  - サイト構築ツール
  - 共同作業ツール
- Wikiはその概念の幅を拡大し続けるだろう